IGROV-1

305556

□要

□明

IGROV-1□胞株はヒト卵巣腺癌□胞株であり、研究、特に卵巣癌を含む研究に広く利用されている。卵巣癌に由来する IGROV-1□胞は、卵巣悪性腫瘍の大部分を占める上皮性卵巣癌（EOC）のモデル化に有用であることで知られている。この □胞株は、薬剤応答や薬剤耐性の基礎となるメカニズムの評価など、様々な場面で用いられてきた。例えば、IGROV-1は、葉酸受容体αを標的とする抗体薬物複合体mirvetuximab soravtansine（IMGN853）などの標的療法の有効性を試験するのに役立ってきた。この ADCは、カルボプラチンやドキソルビシンなどの化学療法薬との相乗効果によって有望な結果を示し、前臨床モデルにおいてDNA損傷と□胞周期停止によって抗腫瘍効果を高めた。
がん研究における役割に加えて、 IGROV-1はウイルス感染研究のモデルとしても特徴づけられてきた。最近の研究では、ウイルスの複製をサポートするACE2の発現を利用して、SARS-CoV-2に対する感受性を強調した。IGROV-1は、一次ヒト鼻上皮□胞と同様に、感染時に強固な自然免疫応答を示すことが示され、血清学的アッセイ、抗ウイルス薬の試験、患者サンプルからのウイルス変異体の単離に利用できる可能性が示された。この □胞株は、適応変異を引き起こす可能性のある Vero□胞のような従来のモデルと比較して、ウイルスを効果的に複製するため、研究に有利であると考えられている。
全体として、IGROV-1□胞は腫瘍学とウイルス学の両分野で貴重なモデルとして機能しており、腫瘍生物学、薬剤耐性、ウイルス病原体の研究をサポートしている。薬物相乗効果実験におけるIGROV-1□胞の関連性と抗ウイルス研究との適合性は、この分野における IGROV-1□胞の多用途性と重要性を強調している。

ティッシュ	卵巣
病気	子宮内膜がん

同義語

- Igrov-1
- IGROV 1
- IGR-OV1
- IGROV1
- Igrov1
- IGR.OV1
- IGROV
- OV1/P
- OV1/p
- OV1-P

分類

生物	人間
セックス	女性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで。

識別子

引用

IGROV-1（サイシオン カタログ番号 305556）

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_1304

発現と感受性

変異プロファイル

変異BRCA1 ′ p.Lys654Serfs*47（c.1961delA）、ヘテロ接合体；変異：BRCA2 ′ p.Lys1108Argfs*11（c.3323delA）（p.Gln1107fs）（c.3320delA）；変異：PIK3CA ′ p.Arg38Cys（c.112C>T）、ヘテロ接合体；変異：PIK3CA ′ p.Ter1069TrpinsLysAspAsn（c.3207A>G）、ヘテロ接合体；変異：PTEN ′ p.Thr316Cys（c.3320delA）、ヘテロ接合体：PTEN ′ p.Thr319fs*1（c.955_958delACTT）（p.VL317fs）（V317fs*3）、ヘテロ接合体；変異：RB1 ′ p.Val656TrpinsLysAspAn（c.3207A>G）、ヘテロ接合体RB1 ′ p.Val654Cysfs*4 (c.1959delA)、ヘテロ接合体；変異：SMAD4 ′ p.GlyGlySMAD4 ′ p.Gly231Alafs*10（c.692delG）、ヘテロ接合体；変異：RB1 ′ p.Val654Cysfs*4（c.1959delA）、ヘテロ接合体：SMAD4 ′ p.Leu495Pro（c.1484T>C）、ヘテロ接合体；変異：TP53 ′ p.Ser90Lafs*10（c.692delG）、ヘテロ接合体：TP53 ′ p.Ser90Leufs*59（c.267dupC）（c.267_268insC）、ヘテロ接合体；変異：TP53 ′ p.Tyr127Pro（c.1484T>C）、ヘテロ接合体：TP53 ′ p.Tyr126Cys（c.377A>G）、ヘテロ接合体

取り扱いと飼育

培地

DMEM ′ w：4.5g/Lグルコース、w：4mM L-グルタミン、w：3.7g/L NaHCO3 ′ w：1.0mMピルビン酸ナトリウム（Cytion品番820300a）

培養雰囲気	37℃ ′ 5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3~5ml ′ T75フラスコでは5~10mlのPBSを使用する。次に、TrypLE Expressで□胞を完全に覆い、T25フラスコでは1~2 ml ′ T75フラスコでは2.5 mlを使用する。室温で8~10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、□胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、300xgで3分間遠心する。上清を捨て、□胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	47年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB